



平成 20 年 11 月 7 日

各 位

会 社 名 株式会社 大 田 花 き  
代表者の役職名 代表執行役社長 磯村 信夫  
( J A S D A Q コード番号 7 5 5 5 )  
問い合わせ先 執行役社長室長 尾田 仁志  
TEL 0 3 - 3 7 9 9 - 5 5 7 1

## 関係会社に対する投資損失引当金の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、当社関係会社に対して投資損失引当金を特別損失として計上することといたしますのでお知らせいたします。

また、最近の業績動向等も踏まえ、平成 20 年 7 月 30 日に発表いたしました平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

### 記

#### 1、投資損失引当金の計上について

当社は、平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間において、当社の関係会社である株式会社とうほくフラワーサポート（宮城県仙台市）の業績が期初計画に対して低調であり、株式会社とうほくフラワーサポートの投資に対する当社持分の欠損割合が 50%を超える可能性が生じたため、株式会社とうほくフラワーサポートに対して投資損失引当金 26 百万円を計上いたします。

#### 2、平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間（平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日）の業績予想の修正 (単位：百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	13,726	97	119	86	15.79
今 回 修 正 予 想 (B)	12,714	26	51	28	5.23
増 減 額 (B-A)	△1,011	△71	△68	△58	—
増 減 率 (%)	△7.4	△73.0	△57.3	△66.8	—
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 3 月期第 2 四半期)	13,729	39	100	94	17.23

### 3、修正理由

当第2四半期は売上高64億44百万円（卸売業務売上64億18百万円・付帯業務売上26百万円）となり、卸売業務売上が平成20年7月30日の業績予想を9億86百万円減少する見込みです。これは8月・9月で10億12百万円売上が落ち込んだことによるものです。

要因としまして、ガソリン価格の高騰により運賃コストが合わないことから、場外問屋・地方市場からの受注が減少したこと、仲卸売上のうち地方転送分が減少しそのあおりを受けたことがあげられます（計画比5億60百万円減）。また、景気の減速感から必需品に絞られた消費動向の影響を受け、小売店（専門店・業務需要店・量販店）でも大幅に売上を落としました（計画比4億52百万円減）。さらに、生産面でも需要期とずれた出荷商品が多く、相場形成できない展開が多くみられました。

以上の売上高の減少により、利益面につきましても営業利益26百万円、経常利益51百万円、四半期純利益28百万円（投資損失引当金26百万円を含んでおります）となりそれぞれ前回予想に比べ減少する見込みです。

なお、通期の業績予想につきましては、厳しさを増している経営環境を鑑み、現在慎重に試算しているところで、算出次第すみやかに公表いたします。

（注）上記の予想は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因により予想数値と異なる場合があります。

以 上